

おすすめの絵本（乳幼児向け）

長与町 ブックスタート

長与町でも
平成27年8月から
始めました！

ブックスタートって？！



赤ちゃんに保護者に、絵本を開く楽しい体験とじっくりと絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動です。

平成27年4月以降に長与町で生まれたすべての赤ちゃんを対象に、3～4ヶ月検診時に実施しています。



ご紹介するこれらの本は、
すべて長与町図書館にもそろっているので、
気軽に足を運んでみてくださいね♪



はっさく きよみ せとが れいこ ミツン まこと いよ ポメロ



<参考>

- ・ブックスタート赤ちゃん絵本
- ・県民が子どもにすすめる本
- ・長与町図書館おすすめの絵本



◆ 0歳～2歳向け ◆

おすすめの絵本



『ぴょーん』

- 作・絵／まつおかたつひで
- ポプラ社



- 「かえるが…」 「ぴょーん」の動きを、縦開きでダイナミックに表現します。
- 絵本にあわせて赤ちゃんを持ち上げるなどの遊びにもつながります。

くっついた

『くっついた』

- 作・絵／三浦太郎
- こぐま社



- ページをめくると動物や虫などが次々とくっついていって、お母さんとわたし、お父さんも「くっついた」
- お父さんもお母さんも、赤ちゃんにくっつきながら楽しめる絵本。

だるまさんか



『だるまさんが』

- 作/かがくいひろし
- プロンズ新社

●だるまさんの鮮やかな赤色と、「どてっ」「ぶしゅーっ」などのユニークな動きに、赤ちゃんが引き込まれます。

●絵本に合わせて体を動かすなど、親子の遊びにもつながる絵本。

ぶうさんのブー



『ぶうさんのブー』

- 作/100%ORANGE (及川賢治・竹内繭子)
- 福音館書店

●ぶうさんがいろいろなブーを体験します。

●転んだり困ったりしても、最後は大好きな人と手をつないでお出かけ。安心感を持って読み終えることができます。

もう おきるかな？



『もう おきるかな？』

- 文/まつのまさこ
- 絵/やぶうちまさゆき
- 福音館書店

●寝ている時や目覚めた時の、動物の親子のリラックスした仕草が印象的

●動物園に行く時に開いて、本物と比べて楽しむこともできる

だっだあー



『だっだあー』

- 作/ナムーラミチヨ
- 主婦の友社

●赤ちゃんが好む“顔”を粘土の質感を活かして魅力的に表現。

●不思議な濁音・半濁音に赤ちゃんが引き込まれます。

なんだなんだ



『なんだなんだ (とことこえほん)』

- 作/カズコ G.ストーン
- 童心社

●なんだなんだ これなんだ？

パンダさんのうでのなかには何がいるのかな？

かにこちゃん



『かにこちゃん』

- 作/岸田衞子
- 絵/堀内誠一
- くもん出版

●かにこちゃんの1日を追いかける絵本。

●「すこすこすこ」という擬音語の繰り返し、かにこちゃんのかわいらしい動きを魅力的に表現。

●少し大きくなって楽しめる。

おひさま あはは



『おひさまあはは』

- 作・絵/前川かずお
- こぐま社

●みんなであはは。

ぼくもあはは、おかあさんもあはは。

まあるい笑顔のおひさまが赤ちゃんの注目を引きま。

おつきさまこんばんは



『おつきさまこんばんは』

- 作/林明子
- 福音館書店

●夜空を見上げた時の光景が思いだされるような、幻想的で落ち着いた色調。

●表紙と裏表紙を使って、いないいないばあ遊びも楽しめます。

がたんごとん



『がたんごとん がたんごとん』

- 作/安西水丸
- 福音館書店

●がたんごとんとやってくる汽車に「のせてくださーい」とリンゴ、バナナ、ねこ、ねずみが次々にのりこみます。

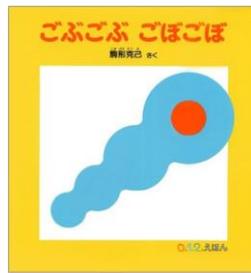


『じゃあじゃあびりびり』

- 作・絵／まついのにこ
- 偕成社

●車や紙など身近なものが描かれており、日常生活の中でも「ぶーぶーだね」「びりびりするよ」といった赤ちゃんへの言葉かけにつながります。

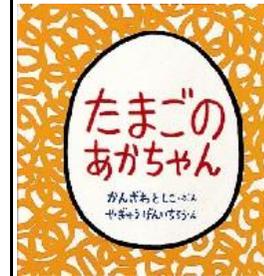
●コンパクトサイズで持ち運びに便利



『ごぶごぶ ごぼごぼ』

- 作／駒形克己
- 福音館書店

●ページに開けられた穴のしかけは、赤ちゃんにとって複雑すぎず、ほどよい刺激になります。



『たまごのあかちゃん』

- 作／かんざわとしこ
- 絵／やぎゆうげんいちろう
- 福音館書店

●たまごの中にかくれているのはなんだろう。ページをめくりながらあてっこしてみたら。



『ねないこだれだ』 (いやだいやだの絵本4)

- 作・絵／せなけいこ
- 福音館書店

●ねないこだれだ？
こんな時間にまだ寝ていない子がいるのかな？



『おいし〜い』 (はじめてであう えほんシリーズ)

- 作／いしづちひろ
- 絵／くろざわゆうこ
- くもん出版

●あかちゃんがおいしいものを食べて笑顔いっぱい、おいしいね。

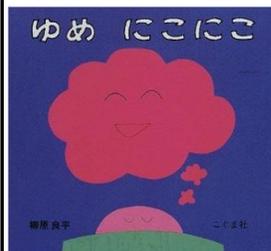


『はらぺこあおむし』

- 作／エリック・カール
- 訳／もりひさし
- 偕成社

●あおむしが食べた部分に丸い穴が開いているしかけ絵本。

●葉っぱの上の白いたまごは、やがてあおむしとなり、かたっぱしから食べ続け・・・。



『ゆめにこにこ』

- 作・絵／柳原良平
- こぐま社

●季節や天気、赤ちゃんの成長に合わせて、好きなページだけを開いても楽しめます。

●シンプルな文章に、読み手が自由に言葉を添えて赤ちゃんに語りかけられます。

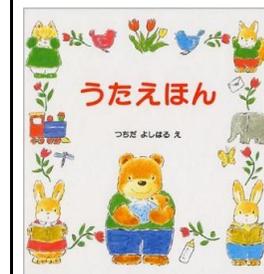


『いないいないばあ』

- 文／松谷みよ子
- 絵／瀬川康男

●「いないいないばあ」という遊びが題材。

●手のむこうには思った通りの顔があり、赤ちゃんは思わずニッコリ。



『うたえほん』

- 絵／つちだよしはる
- グランママ社

●だれでも知っている童謡がたくさん載っています。子どもは歌うのが大好きですので、歌って聞かせてあげましょう。



『くだもの』

- 作／平山和子
- 福音館書店
- 果物がみずみずしく写実的に描かれた絵本

- 「さあどうぞ」で実際にくだものを食べさせてあげたい絵本。
- つかんで食べる真似をするなど、ごっこ遊びにつながります。



『どうぶつのおかあさん』

- 作／小森 厚
- 絵／藪内正幸
- 福音館書店

- 動物のお母さんはどうやって赤ちゃんを運ぶのかな？



『しろくまちゃんのほっとけき』

- 作・絵／わかやまけん
- こぐま社

- ぼたーん だろだろ・・・ほっとけきのできあがり。はやく食べたーい。



『いちにのさんぽ』 (ぼかぼかえほん1)

- 著／ひろかわさえこ
- アリス館

- おさんぽする途中でいろんなお友達に出会います。最後はみんなで、おひさまにこんにちは！



『ちょうちょうひらひら』

- 文／まどみちお
- 絵／にしまきかよこ
- こぐま社

- 「うふふ」「えへへ」「おほほ」などの優しい言葉の響きが、静かであたたかな世界観を表現。
- 穏やかな感情を赤ちゃんと一緒に体験でき、大人もゆったりと気持ちを落ち着かせて読めます。



『もしもーし』

- 作／山岡ひかる
- アリス館

- もしもーしだれですか？おともだちともしもし楽しいね。



『まるまるころころ』 (とことこえほん)

- 文／得田之久
- 絵／織茂恭子
- 童心社

- いろいろな色のまるが、ころころころがったり、ひらひらとんだり。ページをめくると…ぶどうになったり、ちょうになったり、てんとうむしになりました。



『おてて たっち』 (はじめてであうえほんシリーズ)

- 作／武内祐人
- くもん出版

- 動物さん おててたっち。かぞくみんなで おててたっち。



『おでかけばいばい』 (福音館あかちゃんの絵本)

- 文／はせがわせつこ
- 絵／やぎゆうげんいちろう
- 福音館書店

- パパママにおんぶされてばいばいする子どもたち。最後はみんなでバスに乗ってお出かけです。



『おはようのえほん』
(ちいさなしかけえほん)

- 作・絵/いしかわこうじ
- 童心社

●ページの途中でめくる楽しみ。
めくると動物たちがおはようのあいさつ。



『あそび』

- 作/ヘレン・オクセンバリー
- 文化出版局

●どの家にもあるような道具でも、赤ちゃんにとっては遊びにつながる事が分かる絵本。
●文字がないので、読み手が自由にお話を作れます。



『おひざでだっこ』
(とことこえほん)

- 文/内田麟太郎
- 絵/長谷川義史
- 童心社

●子どもをおひざでだっこしながら、読んであげたい絵本。



『かんぱいごっくん』
(ママと赤ちゃんのたべもの絵本6)

- 作/真木文絵
- 絵/石倉ヒロユキ
- 岩崎書店

●かんぱいして、飲み物ごっくん。
いっしょに飲むとおいしいね。



『ととけっこう
よがあげた』

- 案/こばやしえみこ
- 絵/ましませつこ
- こぐま社

●「ととけっこう よがあげた まめでっぼう おきてきな」は赤ちゃんの目覚めの時に読んであげたいわらべうた。
●読み手が自由に読んでも、巻末の楽譜を参考に節をつけて読んでも楽しめます。



『どんぐりころちゃん』

- 作/みなみじゅんこ
- アリス館

●わらべうたになっています。歌いながら子どもを持ち上げたり、いっしょに遊びながら楽しめます。



『どんどごん』
(福音館の幼児絵本)

- 作/和歌山静子
- 福音館書店

●次のページをめくると、何が土の中にかくれているのかわかるようになっていきます。
●「どんどごん」と野菜が育っていきます。
●次は何の野菜だろうと楽しめる縦型絵本。



『どこどこ
ももんちゃん』
(ももんちゃんあそぼう)

- 作・絵/とよたかずひこ
- 童心社

●ももんちゃん、そんなにいそいでどこいくのかな？



『おふろでちゃぷちゃぷ』

- 文/松谷みよ子
- 絵/いわさきちひろ

●「あひるちゃん どこいくの」「いいところいいところ」。導かれた先は、水や泡で遊べる、子どもが大好きなお風呂。日常の一場面をやわらかなタッチで表現。
●少し大きくなって楽しめます。